



① 放課後子ども教室「まちとも」について



松岡みゆきの質問

- ① 共働きが増え放課後を家で子供だけで過ごすのは心配です。9年前から始めた小学生の放課後校庭遊び見守り事業を一新し、学校の余裕教室も活用し学習活動等を実施する去年から始まった新しい「まちとも」の事業内容は？
- ② 「新しいまちとも」は5ヶ年計画に基づき2021年度までに全42校の小学校で実施予定だが利用状況はどうか？
- ③ 運営協議会として学校、学校ボランティアコーディネーター、青少年健全育成会委員、PTAの方、地域の方等多くの方に関わって頂いているが今後の課題は何か？



子ども生活部長の答弁

- ① 基本は週5日間、夏休み等も、天候に左右される事なく開催します。「新しいまちとも」の運営は、地域や学校を主体として組織された運営協議会が担っています。
- ② 現在10校で実施している。延べ利用者数は約7万3千人。今年度は新たに8校実施し、毎年8校ずつ実施校を増やします。子供達は無料で利用できます。
- ③ 立ち上げに際して多くの学校で苦勞されていますが、活動内容を充実させる為、運営に携わる人材の確保、活動場所の確保、事業の運営費の確保が挙げられます。

② 出産祝い金について

松岡みゆきの質問

- ① 命の誕生は誰もが例外なくお母さんから生まれてきました。女性は妊娠中、つわり、妊娠中毒症等を抱えながら10ヶ月の間お腹の中で小さな命を育てます。市は毎年出生数が減少し年間3千人を割り、このままだと持続可能な社会が保てないが市の対応や見解は？
- ② 日本は、人口減少社会に突入している為、少子化対策は待ったなしである。他の自治体でも、出産を奨励する制度として出産祝い金があるが、若い世代から選ばれる町として町田市でも取り組むべきだと思うがいかがか？



子ども生活部長の答弁

- ① 少子化対策として現在、市で支給しているものは保健所事業で「出産子育てしっかりサポート事業」で面接を受けた妊婦さんに1万円分の「子ども商品券」や、戸籍届出時に、福祉作業所で製作した、干支の置物を渡している。出産祝い金は現在支給していません。

高橋副市長の答弁

- ② 出産祝い金が出産率に対してどういう効果があるか、どうしても市の財政状況の中で何に力を入れていくかが必要になってくるので、今後、研究していきます。



議会の傍聴において下さい → [市役所3階・議会事務局](#)で受付 ※市役所横に駐車場あり

★議会は年4回(3、6、9、12月)。詳細は松岡みゆきブログで約1週間前に通知。 [動画右下の矢印クリックで画面拡大](#)

★インターネットで生中継をご覧になれます。 [町田市議会 公式サイト](#) で検索 → [議会中継](#) → ※過去の議会は、続いて画面左の会議録検索「一般質問」 → 議員名指定「松岡みゆき」で検索 → 録画放映 で視聴可